

日本女子大学総合研究所課題81公開講演会

# アガサ・クリステイにみる 20世紀前半イギリスの表象文化

日時:10月19日(土) 午後13時30分～16時00分

場所:日本女子大学目白キャンパス 百年館高層棟504

開会挨拶 13:30～13:35 代表 坂井妙子(国際文化学部教授)

発表 1 13:35～14:00 米今由希子研究員(家政学部非常勤講師)  
「日本風演劇における女性像と女優  
— *The Darling of the Gods* と Lena Ashwell を中心に—」

発表 2 14:00～14:30 川端康雄研究員(日本女子大学名誉教授)  
「『人形の家』の修繕」と1880年代イギリスのイプセン論争

講演 14:40～15:50 菅靖子先生(津田塾大学学芸学部教授)  
「アガサ・クリステイにみる20世紀前半イギリスの表象文化」

質疑応答 15:50～16:00

講師プロフィール:東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学  
ロイヤル・コレッジ・オヴ・アート博士課程修了(Ph.D.)  
ロイヤル・ソサイエティ・オヴ・アーツのフェロー(FRSA)

専門:近現代イギリス史、デザイン史

著書:『イギリスの社会とデザイン——モリスとモダニズムの政治学』(彩流社 2005)  
『モダニズムとデザイン戦略——イギリスの広報政策』(ブリュッケ 2008)  
編著『欲ばりな女たち——近現代イギリス女性史論集』(共編、彩流社、2013)  
『チャールズ・ホームの日本旅行記—日本美術愛好家の見た明治』共訳、彩流社2011)  
ネイラー『アーツ・アンド・クラフツ運動』(共訳、みすず書房 2013) 他

研究課題81: 19世紀後半から第二次世界大戦までの演劇界における女性の自立  
—日本、イギリス、フランスの比較

問合せ先: 国際文化学科 坂井妙子 03-5981-7627(個人研究室)  
研究員 佐々井啓 sasai@fc.jwu.ac.jp